



GODOYOK 
Eco Project

エコアクション21

2024 年度

環境経営レポート

発 行 2025 年 5 月 19 日

(対象期間：2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003750



合同容器株式会社

環境経営方針

環境理念

私たちは、環境にやさしい製品を提供する段ボールメーカーとして、北国の恵まれた自然を残すため、環境負荷の軽減に努めます。

行動方針

1. 環境に関する法令・規制を順守し、環境に配慮した事業活動を推進します。
2. 仕事のムダ・ムリ・ムラをなくし、省エネルギーの推進と資源の有効活用に努めます。
3. 廃棄物の分別によるリサイクル化の推進と資源の再使用化に取り組み、最終廃棄物の減量化に努めます。
4. 水資源の節減と有効活用に努めます。
5. 当社で使用する化学物質について、その適切な管理に努めます。
6. 当社で購入する物品について、グリーン購入に努めます。
7. 環境にやさしい製品の企画・提案に努め、循環型社会の実現に貢献します。
8. 環境活動を通して環境保全意識を高め、その活動結果を社外に公開します。

2008年 10月 1日 制定

2014年 4月 1日 改訂

 合同容器株式会社

代表取締役社長 日野 威

組織の概要・対象範囲

1. 組織名および代表者氏名

合同容器株式会社

代表取締役社長 日 野 威

2. 所在地

〒061-1492 北海道恵庭市北柏木町 3 丁目 39 番

TEL : (0123) 32-4141

3. 事業内容

段ボールおよび段ボール箱の製造、加工、販売

紙加工品および包装・物流関連商品の販売、包装機械・器具の販売

<http://www.godoyoki.co.jp/>

4. 事業の規模

主要製品生産量	57,800 千㎡
従 業 員 数	126名
敷 地 面 積	84,800 ㎡

5. 対象範囲 全 8 個所 認証・登録番号 0003750

本社・札幌事業部：北海道恵庭市北柏木町 3 丁目 39 番 TEL : (0123) 32-4141

函館事業部：北海道函館市港町 1 丁目 32 番地 34 号 TEL : (0138) 42-0101

青森事業部：青森県青森市大字油川字柳川 92 番地 1 TEL : (017) 788-2121

《営業拠点》

東京営業所： 東京都千代田区神田須田町 1-14-1

ヒューリック神田須田町ビル(受付 1 階) TEL : (03) 6859-8667

札幌営業所： 札幌市白石区菊水 6 条 3 丁目 1 番 1 号 TEL : (011) 841-4185

旭川営業所： 旭川市東鷹栖 2 線 1 1 号 TEL : (0166) 57-2431

北見営業所： 北見市東相内町 5 6 0 番地の 5 TEL : (0157) 36-2431

帯広営業所： 帯広市西 3 条南 28 丁目 17 番地 9 雅ハイム 1 階 TEL : (0155) 27-1341

6. 環境管理責任者及び担当者連絡先

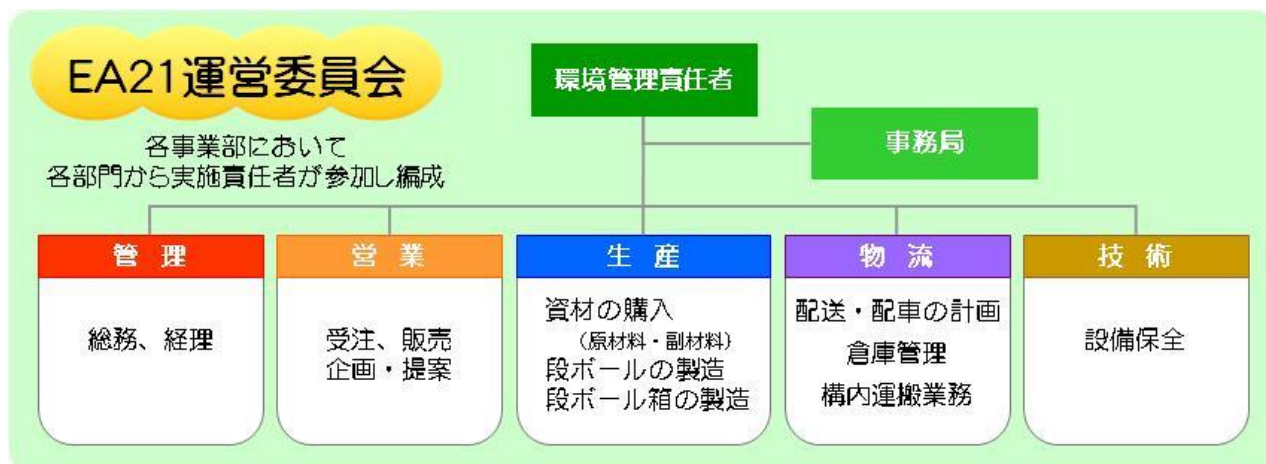
環境責任者： 品質保証部長代理 上野 経太

事業責任者： 札幌、青森事業部長 佐藤 正樹

函館事業部長 神保 陽太

事務局： 品質保証部 品質管理課 阿波 健太 TEL : (0123) 33-7198

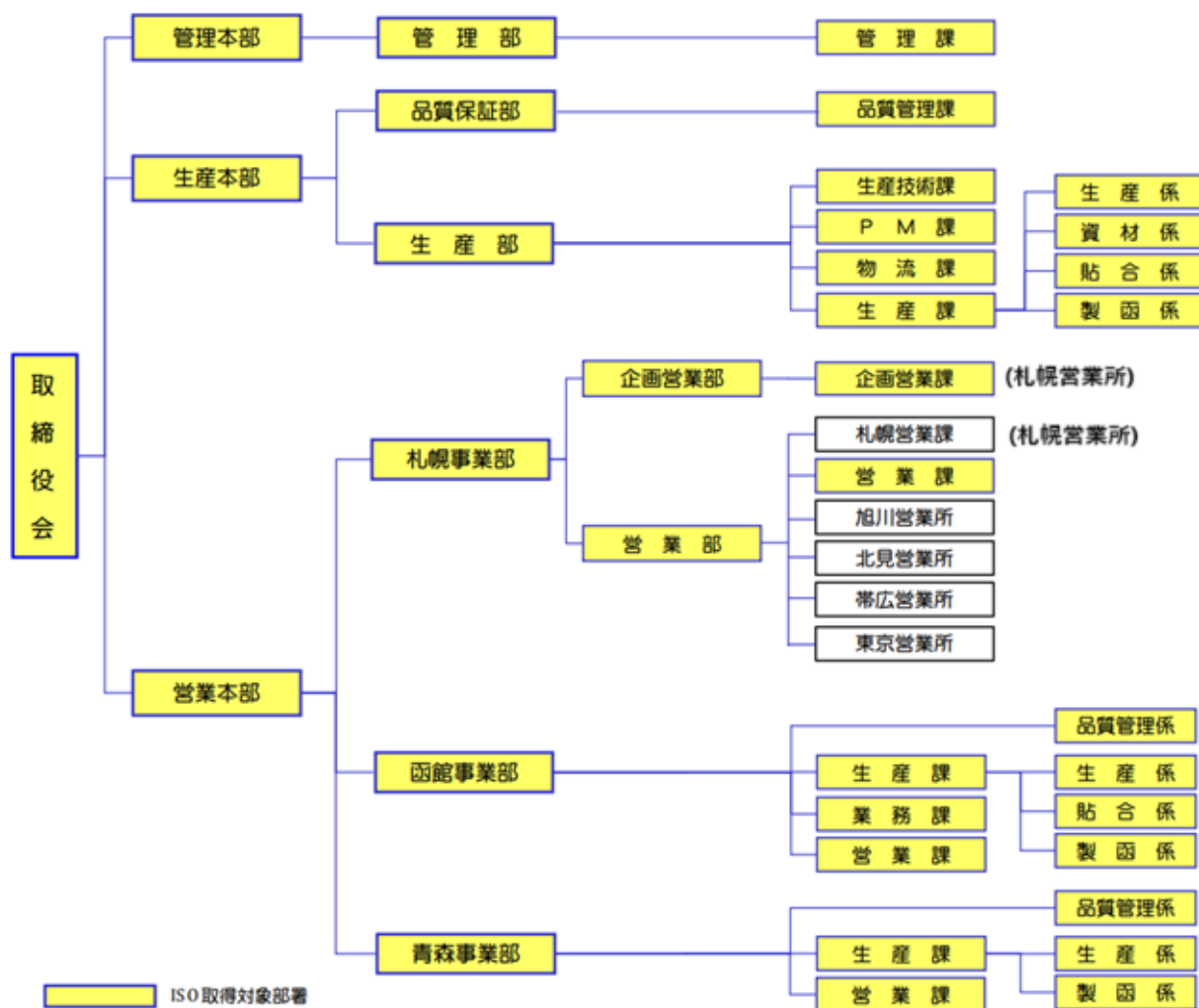
7. 運営組織



8. 会社組織図

会 社 組 織 図

2025/04/01改訂



該当者	役割、責任及び権限
経営者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営に関する統括責任 2. EA21環境経営システムの実施及び管理に不可欠な資源の提供、資源には人的資源及び専門的な技能、技術並びに資金を含む 3. 環境経営方針の作成 4. 環境管理責任者の任命 5. 全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者 (EMR)	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21に従った環境経営システムの要求事項の確立、実施、維持 2. 経営者への実績報告を含む見直しのための報告 3. EA21環境経営システムの運用実施 4. 環境経営レポートの管理責任
事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境管理責任者のサポート(環境経営目標の達成状況の調査等) 2. 環境管理責任者の指示による文書・記録の作成 3. 文書・記録の管理 4. 環境経営レポートの作成
部門責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自部門におけるEA21環境経営システムの実施 2. 自部門における環境経営方針の周知 3. 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 4. 自部門に関連する環境経営目標及び環境経営計画の実施及び達成状況の報告 5. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置
実施責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部門責任者に指名されたEA21の運営委員 2. 自部門の特定された文書・記録の作成 3. 自部門の問題点の発見、是正、予防処置

環境に配慮した製品の紹介

当社のホームページで紹介しています。 <http://www.godoyoki.co.jp/product/>

■ 段ボールシート/ケース

段ボールは強度と使いやすさを兼ね備え、環境にもやさしい理想的な包装素材です。さらに、その優れた印刷特性によって商品イメージをアピールし、様々な情報を伝えることができます。

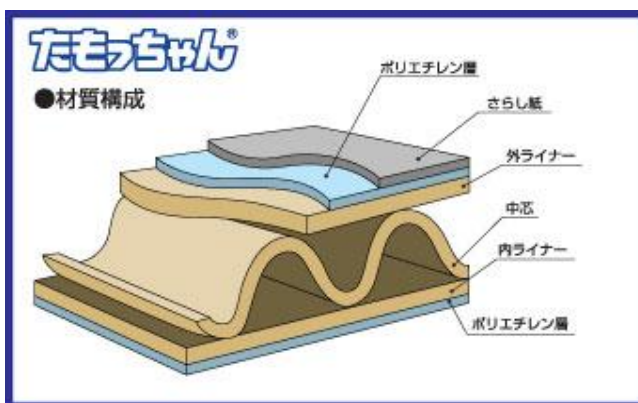
当社ではこの段ボールの特徴を生かし、商品イメージを高めて内容物を安全に保護・輸送できるよう最適なパッケージを提供いたします。用途や目的に合わせ、段種も AF、BF、CF、EF、ABF と幅広く取り揃えています。



■ たもっちゃん[®]

「たもっちゃん」は、特殊耐水原紙を使用した機能性段ボールで、耐水性と鮮度保持効果をプラスしました。従来の耐水段ボールと異なり、使用後にリサイクルが可能で地球環境にやさしい包装素材です。

※ 「たもっちゃん」の総製造販売元は日本トーカンパッケージ株式会社で、当社は北海道地区の製造委託販売元です。



■ バイアスエコパネル（略称 BEP）

BEP は、段ボールと異なる独自構造をもった紙パネルで、地球環境にやさしい新素材です。BEP を特徴付けているのは、そのバイアス（斜交）構造の中しんにあります。交互に組み合わせられた中しんは強固な連続結合を形成し、この両面に特殊紙を貼り合わせてパネルに加工しました。

BEPは、軽量でありながら高い強度を有し断熱性や加工性にも優れ、また廃棄の際は古紙処分が可能で、多くの長所をもつ優れた素材です。オリジナルのディスプレイや POP など、幅広い分野にご利用いただけます。



環境経営目標

中長期の目標

2023 年度を基準年として、2024 年度からの中長期（3 年間）の目標値を示す。

環境負荷項目	単位	2023 年度 (基準年実績)	2024 年度	2025 年度	2026 年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /千 m ²	76.71	75.94 1 %削減	75.17 2 %削減	74.40 3 %削減
古紙の発生率 札幌事業部	%	10.35	前年比削減	前年比削減	前年比削減
函館事業部	%	11.10	前年比削減	前年比削減	前年比削減
水資源（上水＋地下水）	L/千 m ²	0.45	前年比削減	前年比削減	前年比削減

過去 3 年間の主な環境負荷

【全社の負荷データ】

環境負荷項目	単位	2022 年	2023 年	2024 年
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,179,418	4,676,216	4,741,176
廃棄物（再生古紙含む）	ton	4,378	5,643	4,161
水使用量	m ³	31,119	29,337	29,970
上水道	m ³	3,264	3,046	3,424
地下水	m ³	27,855	26,291	26,546

※電力の排出係数(kg-CO₂ / 千 kWh) 北海道電力(株) : 0.499 東北電力(株) : 0.402

中長期目標と年度ごとの目標値

2024 年度（2024/04/01～2025/03/31）実績

○ : 目標達成、× : 目標未達

環境負荷項目	単位	2023 年実績	2024 年目標	2024 年実績	判定
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /千 m ²	76.71	75.94	81.36	×
古紙の発生率 札幌事業部	%	10.35	前年比削減	10.47	×
函館事業部	%	11.10	前年比削減	11.09	○
水使用(上水＋地下水)	L/m ²	0.45	前年比削減	0.46	×

環境経営計画と主な取り組み

CO ₂ 排出量の削減 (㎡原単位前年対比 1 %減)	CO ₂ 排出に起因するエネルギーの消費（投入）量の削減	評価	今後
電 気	稼働率の向上。節電、空調温度基準設定。 クールビズ、ウォームビズの推進。	○	継続
C 重 油	稼働率の向上。配管の断熱、蒸気漏れの修繕。	○	継続
L P G	リフト走行マナーの励行。食堂への省エネ協力要請。	○	継続
灯 油	焼却炉の稼働を監視。空調温度基準設定。ウォームビズの推進。	○	継続
ガ ソ リ ン	運行日報で燃費管理。エコドライブの推進・励行。 エコカーの検討。	○	継続
配送効率の向上	配送効率を向上するような製造計画の作成。 効率的な配送計画の作成。	○	継続
廃棄物の削減とリサイクル化推進	ゴミを分類（定義）し、ゴミの分別を徹底する。		
古紙発生を削減	小径原紙の効果的な使用。ロス削減会議の定期開催。	○	継続
コピー用紙使用量の削減	電子文書の活用。裏面利用など再利用。	○	継続
廃棄コピー用紙のリサイクル化	焼却処理をやめリサイクル化。 機密文書はシュレッダー処理してリサイクル。	○	継続
飲料容器のリサイクル化推進	飲料容器の分別処理。 PET ボトルキャップおよびリングプルを回収し、地域団体へ寄付。	○	継続
排水量の削減	節水に努め排水量を削減する。		
上水道使用量の削減	手洗い・トイレの節水喚起。食堂への節水協力要請。	○	継続
地下水使用量の削減	貼合糊着量の削減。ボイラー冷却水の適正使用量の設定。 インキ洗い水の削減。	○	継続
環境配慮製品の購入と販売			
グリーン購入の推進	事務用品エコ製品購入の啓蒙・推進。	○	継続
B E P の売上 U P	DDPC 事業において環境配慮素材である BEP の採用率を UP。	○	継続
顧客への提案	リデュースにつながる材質、寸法、形式の提案。 環境に配慮した素材の提案。	○	継続
化学物質使用状況の把握			
化学物質使用状況を監視	毎月の EA21 推進会議にて接着剤の使用量を監視。	○	継続

活動の経過

- 2009 年 6 月 本社・札幌事業部（営業所除く）で EA21 を認証・登録
- 2009 年 10 月 マネジメントレビューにてサイトの拡大を決定し全社展開を開始
- 2010 年 3 月 EA21 ガイドライン 2009 年版への対応
- 2010 年 5 月 全社（合計 8 拠点）で認証取得
- 2020 年 3 月 EA21 ガイドライン 2017 年版への対応

取組み主要項目

- ・使用エネルギーの削減
- ・廃棄物の削減、古紙発生率の低減
- ・水使用量および排水量の削減
- ・環境負荷に配慮した製品の購入（グリーン購入）と販売の推進
- ・化学物質使用状況の把握

中長期目標と年度毎の目標値

環境経営目標設定書		2024年度～2026年度（基準年度：2023年度）		2024/04/01
取組項目		2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
CO2排出量の削減	電力消費量の削減	生産㎡当りのCO2排出量を 基準年度より1％削減	基準年度対比2％削減	基準年度対比3％削減
	C重油消費量の削減			
	LPG消費量の削減			
	灯油消費量の削減			
	ガソリン消費量の削減			
廃棄物の削減	古紙発生量の削減	札幌の古紙発生率を 投入量の10.50％以下	札幌の古紙発生率を 投入量の10.50％以下	札幌の古紙発生率を 投入量の10.50％以下
		函館の古紙発生率を 投入量の10.96％以下	函館の古紙発生率を 投入量の10.96％以下	函館の古紙発生率を 投入量の10.96％以下
水使用量の削減	地下水使用量の監視	0.45 L/㎡	0.45 L/㎡	0.45 L/㎡

※品質目標と関連する項目もあるので、進捗は品質・環境どちらで行っても良い。

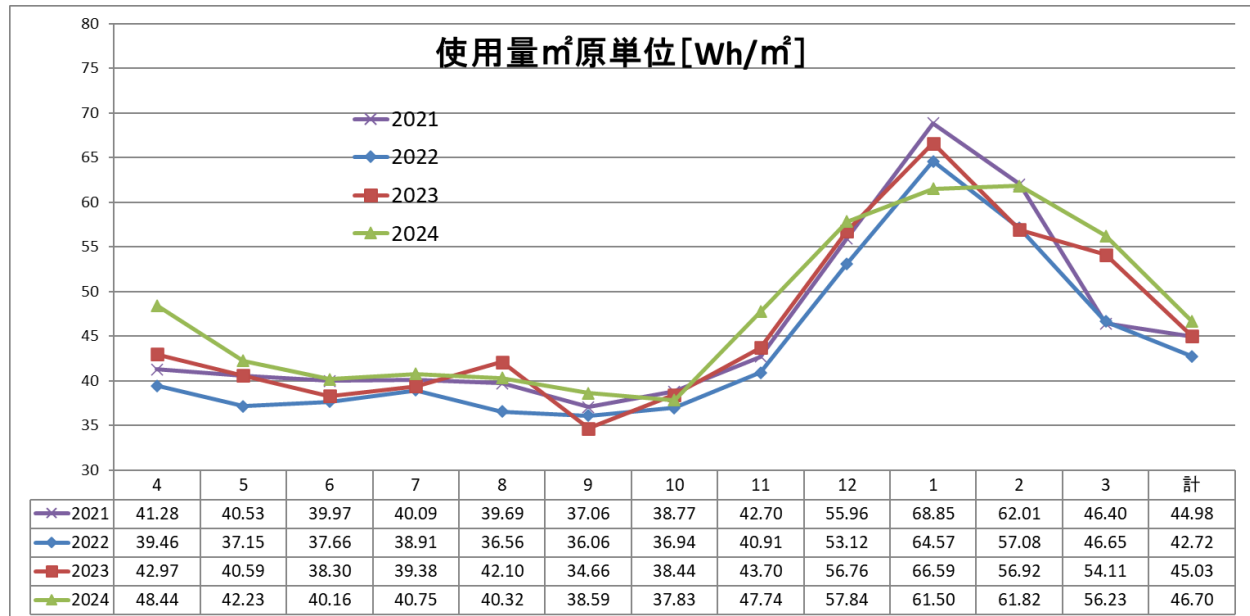
※2023年度を基準年度として、2024年度から2026年度の中長期目標とする。

環境経営目標の取組結果とその評価、次年度の取組について

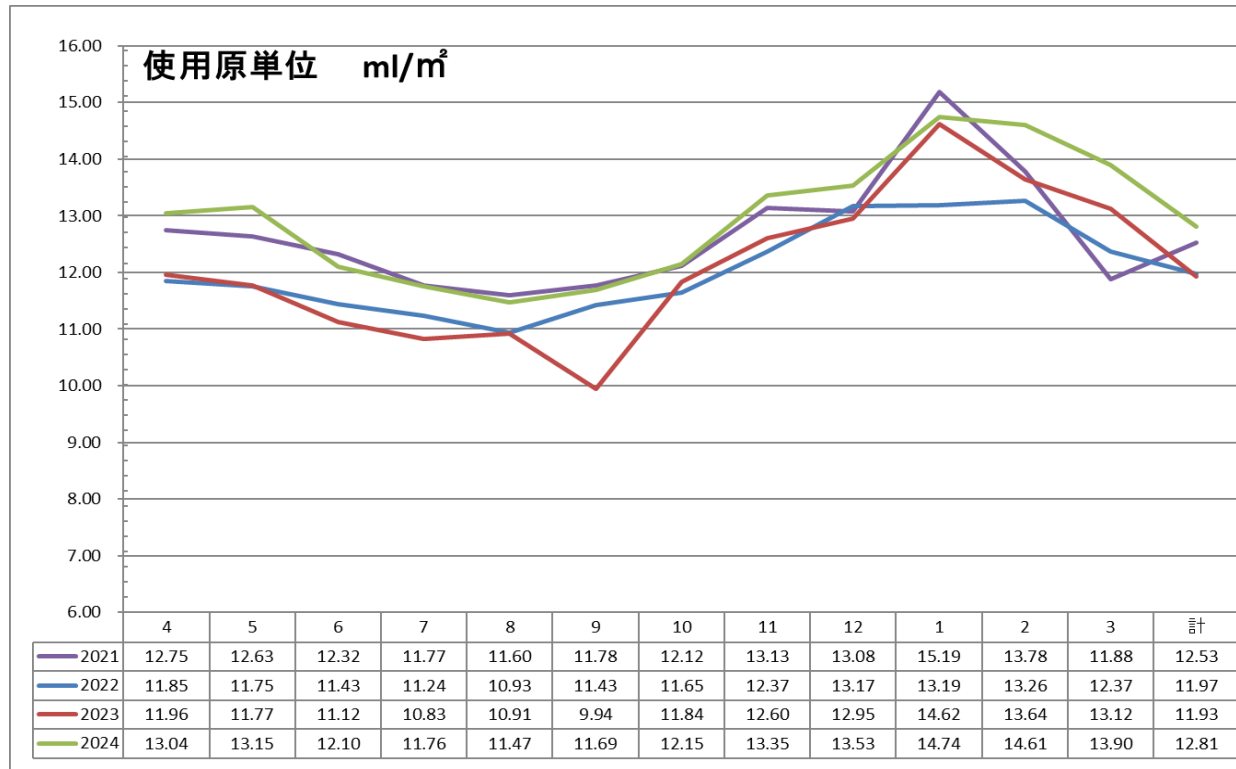
【エネルギー使用量の削減】

環境経営目標では、函館事業部の古紙が達成となった。

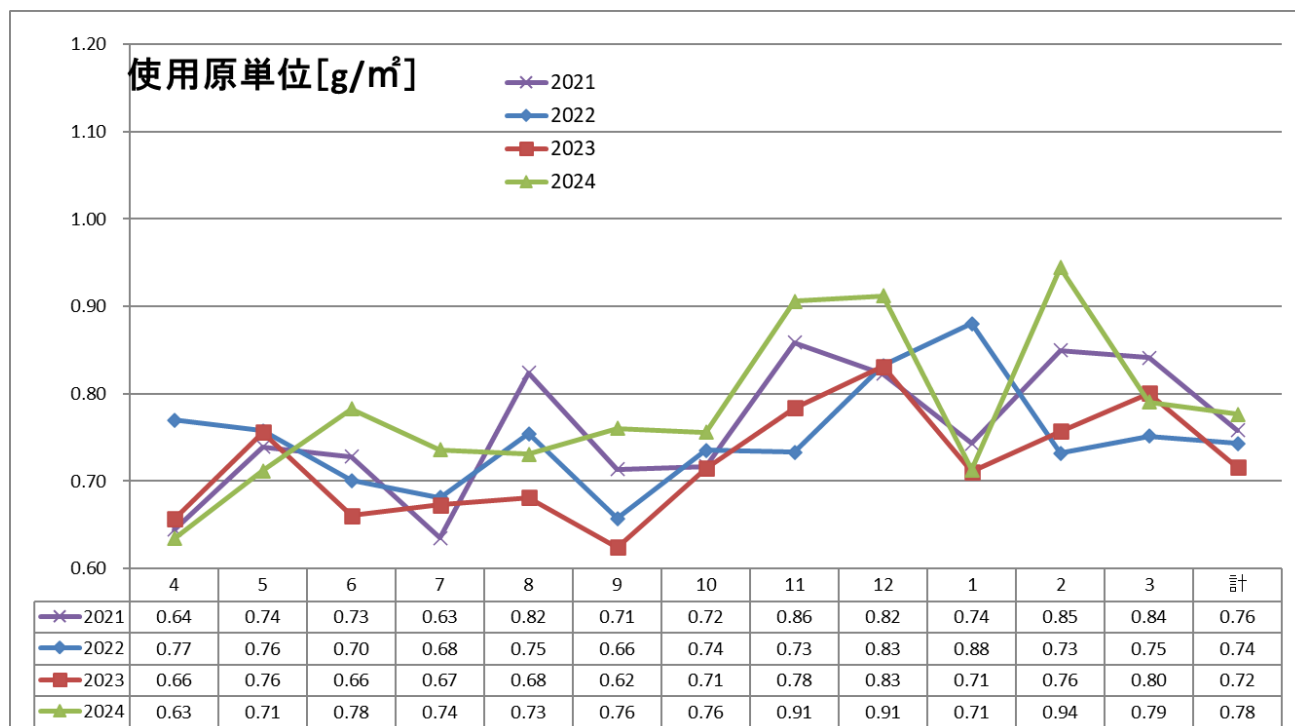
電力



重油



LPG



(次年度の取組)

主要設備においては引き続き稼働率の向上に努める。また、Web デマンド監視装置を継続して活用し、電力使用状況の監視を継続し各部署にて節電の励行に努める。工場においては、時短勤務時期を策定して使用エネルギーの削減を図る。また、各営業拠点では待機電力の削減活動に努める。

【廃棄物の削減、古紙発生率の低減】

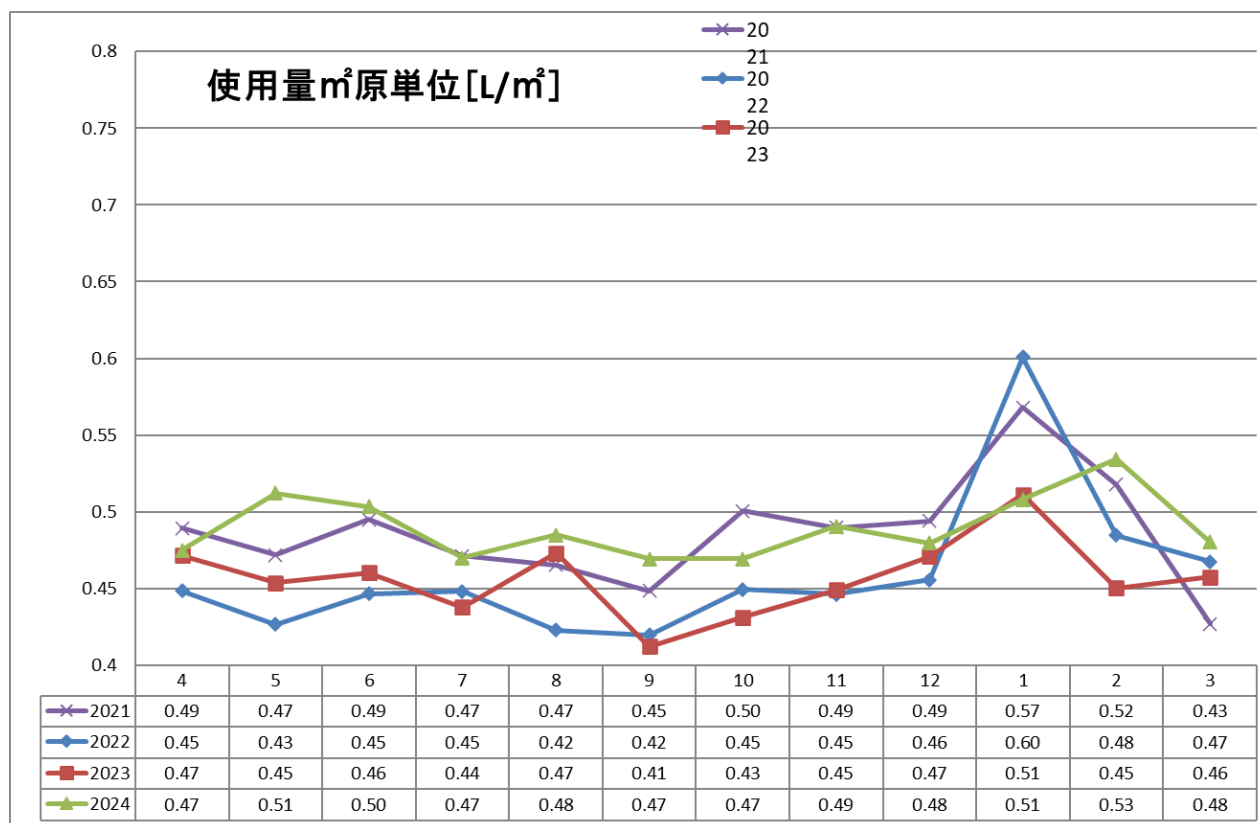
廃棄物の総重量は前年度よりも減少となった。また、古紙の発生率については函館事業部で削減となっており来年度も引き続き削減できるよう活動を継続する。

(次年度の取組)

生産工程でのロスの削減に努め、更に古紙発生率の低減を進める。

【水使用量の削減】

水については上水・地下水共に使用量がほぼ横ばいとなった。主要設備以外での使用量を削減するべく毎月のエコアクション 21 会議で監視を続ける。



(次年度の取組)

2024 年度は 1 階事務所の温水器交換工事の際に、安全弁故障により漏水が発生したが、毎月のエコアクション 21 会議にて水の使用量を監視していたことにより早期発見に繋がった。今後も監視を継続すると共に、主要設備以外でも使用量を減らす努力をする。

【環境負荷に配慮した製品の購入・販売の推進】

(グリーン購入)

事務用品は web 購入しており、毎月支払い時にグリーン購入率が分かるようになっている。各事業所・営業所の購入担当者は、グリーン購入を意識して出来る限りエコマーク付きの製品を購入するように心掛けている。

(BEP 製品の売上向上)

BEP (バイアスエコパネル) 製品の拡大のために立ち上げた DDPC 事業においては、段ボールユーザーだけでなく幅広い分野にて環境配慮素材である BEP の特長を生かした商品の提案を推進する。

(環境配慮製品の顧客への提案)

当社が製造する段ボールおよび関連製品は、リサイクルが可能で環境に配慮した製品といえる。したがって、段ボール製品における顧客提案は、そのまま循環型社会の実現につながるものである。営業部門では顧客提案の件数および採用率を目標に掲げ、積極的に提案型の営業をしている。

【化学物質使用状況の把握】

毎月の EA21 推進会議にて接着剤の使用量を監視したが異常な使用量は見られなかった。

購買品については各メーカーから SDS 及び分析結果を入手し、そのデータを管理している。顧客から要望があれば、随時各購買品の化学物質について報告する体制が構築されている。

毎年恒例の環境経営活動

【避難訓練・設備トラブル発生時の緊急時対応シミュレーション】



環境関連法規等の遵守状況の確認、違反・訴訟の有無

【環境関連法規の遵守状況】

適用される法規制	適用される事項
廃棄物処理法	産業廃棄物(廃プラ、汚泥、焼却灰)
振動規制法	空気圧縮機
消防法	A・C 重油地下タンク
水質汚濁防止法	A・C 重油地下タンク、灯油タンク
下水道法	廃液処理装置
フロン排出抑制法	事務所空調機、工場用スポットクーラー
省エネ法	特定事業所に該当

当社に該当する環境関連法規についての遵守状況を確認した結果、違反となるような事実はない。

【訴訟等について】

近隣住民や他社からの訴訟等の事実はない。

全体評価と見直し

今後も電力について、以前の気候とは異なる夏季の気温上昇に伴い冷房の使用時間が増えることが予想される為、工場人員への暑さ対策グッズ等の配布を視野に入れて電力の削減を図る。また、省エネ活動以外の変動要因の影響もある為、今後も引き続き生産量原単位での評価を継続する。

今後も、当社の基幹事業である段ボール製品について、生産効率の良い仕様へ提案活動を推進し更なる生産効率の向上を行ない、エネルギーの使用量削減に努める。また、生産工程におけるロス削減活動を継続し、古紙発生率の低減を進める。